環境経営レポート

株式会社　ＦＥＷ
（旧社名：株式会社藤井精密回転機製作所）

2022 年度

（対象期間：2022 年3月21日～ 2023 年3月20日）

株式会社FEW

finding essence and worth

エコアクション21
認証番号 0011578

作成日：　2023年4月27日

環 境 経 営 方 針

環境経営理念

株式会社FEWは、回転機器の電動機や発電機および回転機の生産技術を応用した製品の製造・販売を事業活動として地球にやさしい環境作りの実現を目指し、企業の責任を自覚して環境経営システムを構築し環境経営に継続して取り組み、地球環境の保全に貢献します。

環境保全への行動指針

1．環境関連法規および当社が同意した各種協定を遵守します。

2．環境経営方針を実現する為に、環境経営目標の環境経営計画を策定して全員参加で環境保全に取り組みます。

3．電力および自動車燃料の使用量を削減し、二酸化炭素の排出量の削減を目指します。

4．廃棄物の排出量を削減し、また分別収集によりリサイクルを推進して環境負荷の低減に努めます。

5．水使用量の削減に取り組み、節水の意識を持って使用します。

6．化学物質使用時の適切な管理を行ない、使用量の削減に努めます。

7．原材料や事務用品の購入時には、環境に良い製品や材料を選びグリーン購入に努めます。

8．当社の製造する製品については、環境に配慮した設計、製造に取り組みます。

制定日： 2015年9月20日
改定日： 2023年9月21日

代表取締役社長　仲下 正一

組　織　の　概　要

（1）名称及び代表者名
株式会社FEW （旧社名：株式会社藤井精密回転機製作所）
代表取締役社長　仲下　正一

（2）所在地
本　　社　　大阪府大阪市東淀川区西淡路4丁目25番4号
東京営業所　　東京都千代田区神田鍛治町3丁目5番大橋ビル3F
名古屋営業所　　愛知県名古屋市熱田区池内町1番19号
㈱安川メカトレック中部支社内

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　技術部　青木　勝　TEL：06-6322-5731
担当者　技術部　延山　秀幸
営業部　安倉　一輝
製造部　古庄　宏至
製造部　末廣　夢郷

（4）事業内容
各種回転機の設計及び製造販売

（5）事業の規模
売上高　1,878 百万円（2022年度）

	本　　社	東京営業所	名古屋営業所		合計
従業員　名	67 名	2 名	1 名		70名
延べ床面積　㎡	1898 ㎡	38.74 ㎡	6 ㎡		1,943㎡

（6）事業年度　3月21日　～　翌年 3月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　株式会社FEW （旧社名：株式会社藤井精密回転機製作所）
対象事業所：　本　　社
東京営業所
名古屋営業所

活動：　各種回転機の設計及び製造販売

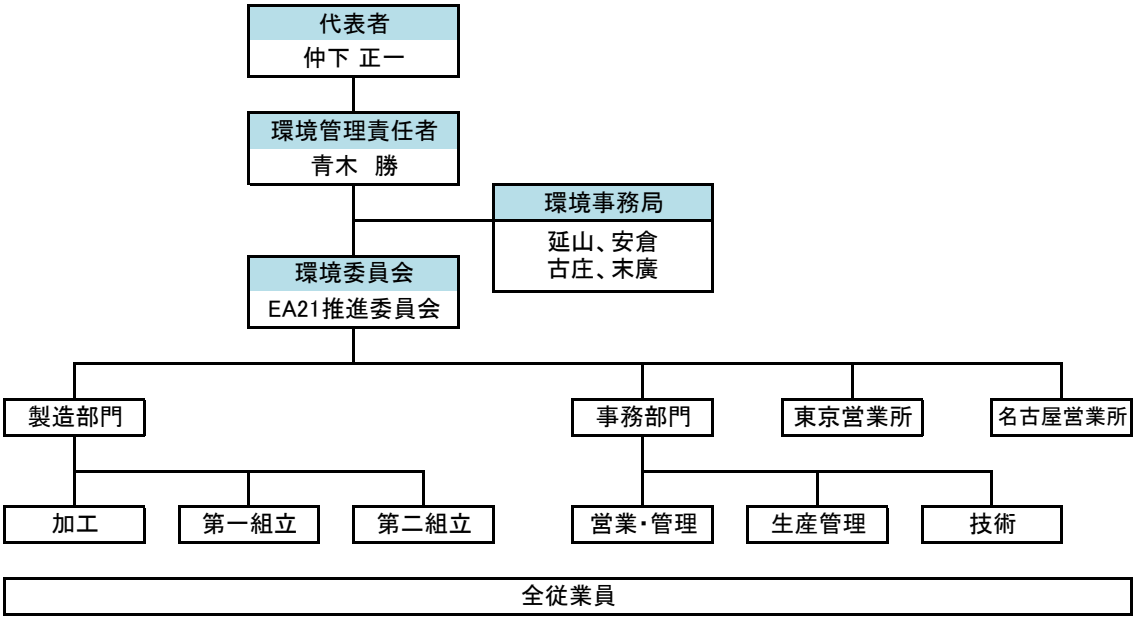
□事業や製品（商品）の紹介

設立　昭和28年 3月9日

主要製品：ACモータ、トルクモータ、ブラシ付DCモータ、ブラシレスDCモータ、タコゼネ

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2021年9月21日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項　目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	177,607	181,852	181,214
廃棄物排出量	kg	5,651	6,166	5,945
一般廃棄物排出量	kg	3,840	4,706	3,988
産業廃棄物排出量	kg	1,811	1,460	1,957
水使用量	㎥	617	562	539
化学物質	kg	3,223	3,031	3,252

※電力の二酸化炭素総排出量換算値　0.531kg-CO2/kWh（本社：関西電力 2014年度 実排出係数）
0.505kg-CO2/kWh（東京営業所：東京電力 2014年度 実排出係数）

※環境目標にないLPGを含む

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

項目＼年度		2014年度（基準年度）	2022年度（目標）	2022年度（実績）	評価	2023年度（目標）	2024年度（目標）
電力による二酸化炭素削減(本社)	kg-CO2	163,835	152,367	148,281	○	152,367	152,367
	基準年度比	—	93.0%	90.5%		93.0%	93.0%
電力による二酸化炭素削減(東京)	kg-CO2	1,756	1,580	1,357	○	1,580	1,580
	基準年度比	—	90.0%	77.3%		90.0%	90.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	39,546	35,591	31,546	○	33,614	33,614
	基準年度比	—	90.0%	79.8%		85.0%	85.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	205,137	—	181,184	—	—	—
廃棄シンナーのリサイクル化	%	0	100.0%	100.0%	○	100.0%	100.0%
	基準年度比	—	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%
一般廃棄物の削減	kg	4,649	4,416	3,988	○	4,416	4,416
	基準年度比	—	95%	86%		95%	95%
水道水の削減	㎥	968	678	539	○	678	678
	基準年度比	—	70.0%	55.7%		70.0%	70.0%
再生メチクロの購入量削減	kg	2,160	2,441	2,160	○	2,441	2,441
	基準年度比	—	113.0%	100.0%		113.0%	113.0%
グリーン購入の推進	%	40%	68.0%	73.6%	○	69.0%	69.0%
	基準年度比	—	170.0%	184.0%		172.5%	172.5%
製品・サービスへの環境配慮	kg	5358	4822	6950	×	4822	4822
	基準年度比	—	90.0%	130%		90.0%	90.0%

※（注釈1）再生メチクロは製品名でリサイクルしたメチレンクロライドの事です。メチレンクロライドの一般名がジクロロメタンとなります。

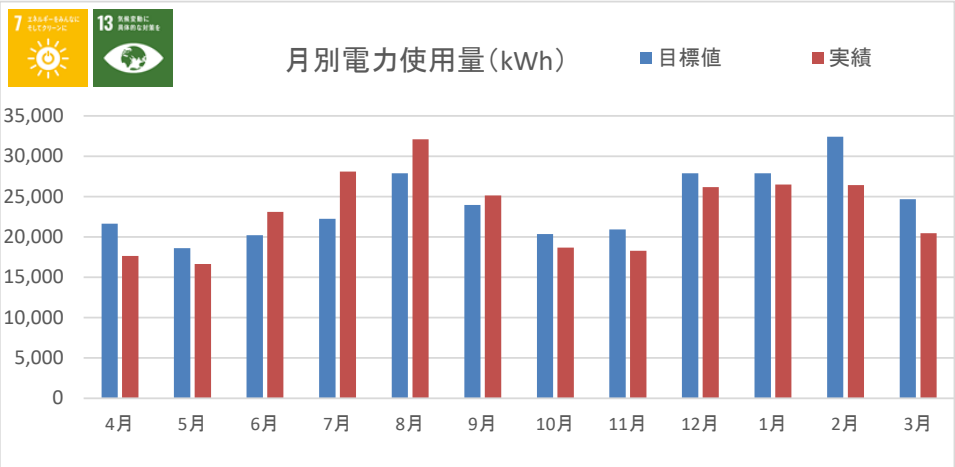
※（注釈2）製品・サービスへの環境配慮については2021年度の実績を採用します。

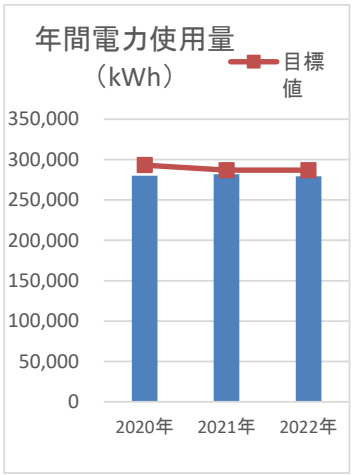
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：〇達成　×未達成

活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

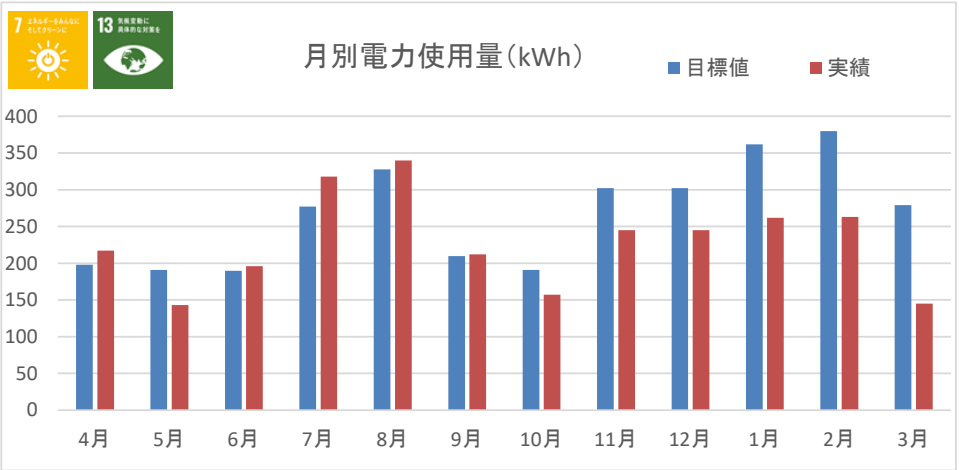
電力による二酸化炭素削減(本社)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	〇	日々の活動の結果、年間では目標より4,000kg-CO2程削減出来、目標比91%となりました。今年は夏場のエアコンの電力消費量が高かったが、暖冬であったため冬場の消費量が低かった事が要因かと考えます。しかしながら来期も毎月の売り上げを達成するため生産活動が更に活発になると思われるため、来期の目標は93%と設定させていただきます。
・空調温度の適正化	◎	
・不要証明の消灯	◎	
・空気圧縮機のエア漏れ点検	◎	
・残業時間削減による消費電力の削減	×	

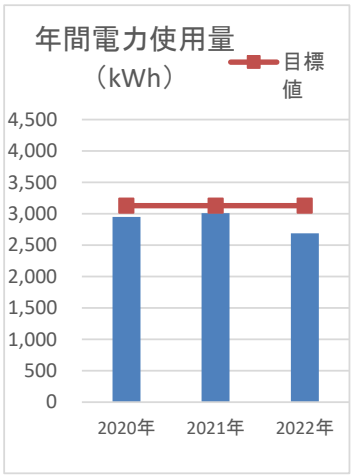




	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	21,641	18,594	20,203	22,247	27,881	23,974	20,373	20,932	27,876	27,876	32,433	24,671
実績	17,654	16,630	23,088	28,099	32,115	25,139	18,684	18,280	26,176	26,500	26,438	20,446

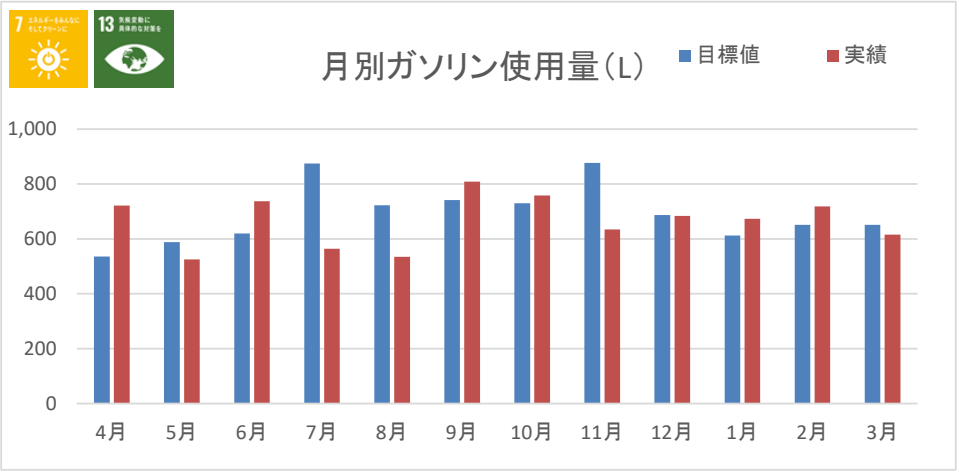
電力による二酸化炭素削減(東京)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	〇	やれることは継続して意識してやっている（5S、ペーパレス等も）。一番の電力消費はエアコンのため、夏冬の気温に左右されるので、来期も今期同様の目標設定といたします。
・空調温度の適正化	◎	
・不要証明の消灯	◎	
・残業時間削減による消費電力の削減	〇	

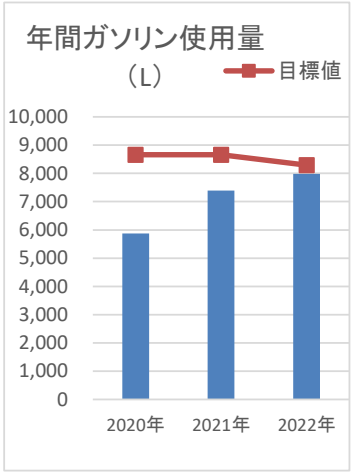




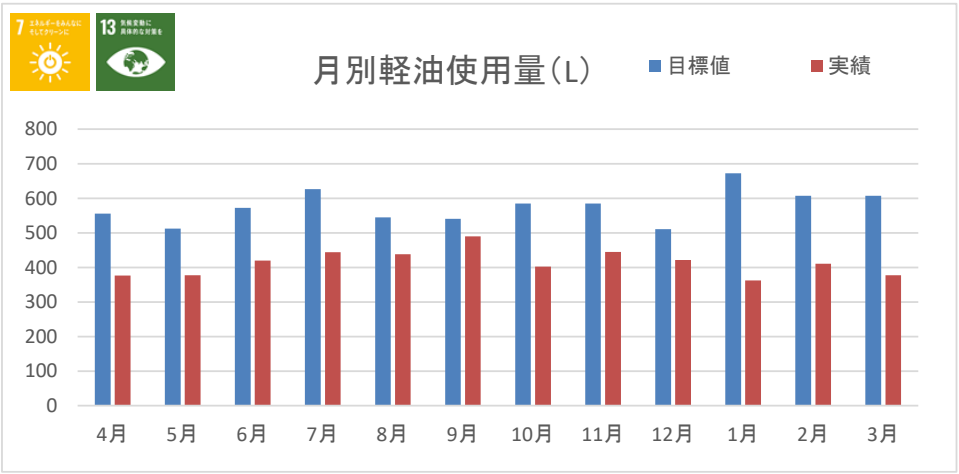
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	198	191	190	277	328	210	191	302	302	362	380	279
実績	217	143	196	318	340	212	157	245	245	262	263	145

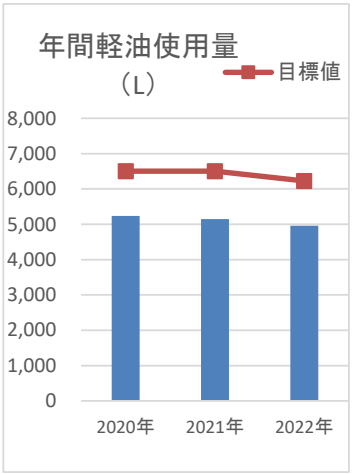
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ガソリンの高騰による低燃費走行を行った結果が、二酸化炭素の削減につながったと考える。引き続き意識を持って対応します。また各社用車の入れ替えが来るときはハイブリッド車を検討し、環境問題に取組んでいきたいと考える。来期はコロナも明け、営業活動も活発になると見込んで目標を85%と設定します。
・エコドライブの推進	○	
・自社便の往復回数削減	◎	
・運行記録管理（燃費管理）	◎	





	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	535	588	620	875	722	742	730	877	687	613	651	651
実績	722	526	738	564	534	809	759	635	684	673	719	616

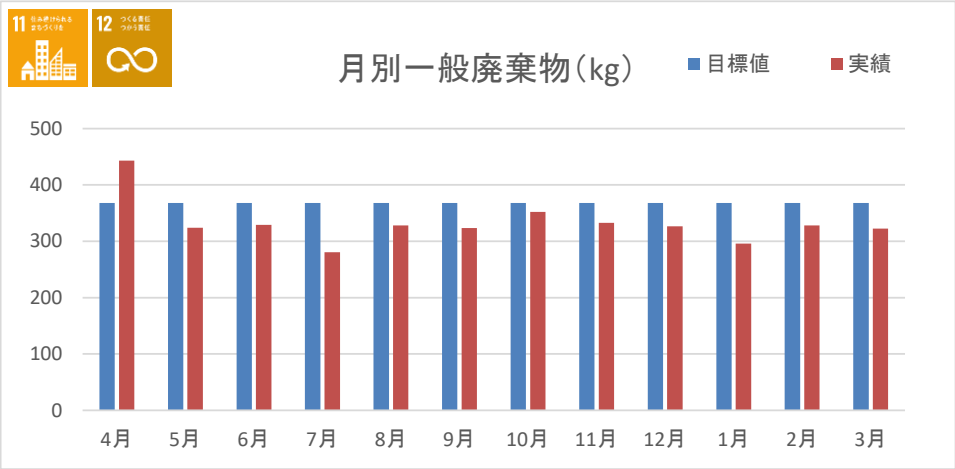


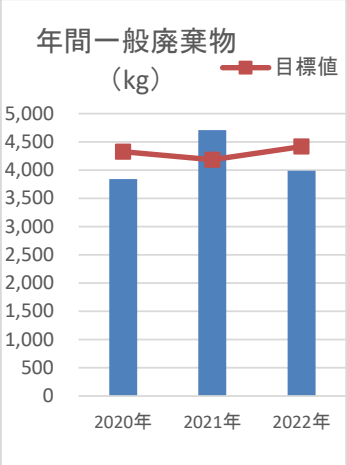


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	555	512	572	626	545	541	585	585	510	672	607	607
実績	376	377	420	444	438	489	402	445	422	362	410	377

廃棄シンナーリサイクル化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	通期で目標は達成しているが、シンナーの購入量、使用量は前年度よりも増加した。次年度も引き続きリサイクル100%を目標とし、シンナーについては購入量、使用量を月次観察していきます。
・廃棄シンナーを100%リサイクルする。	◎	
・消費量に合わせて都度発注する。	◎	
・代替シンナーの検討	◎	

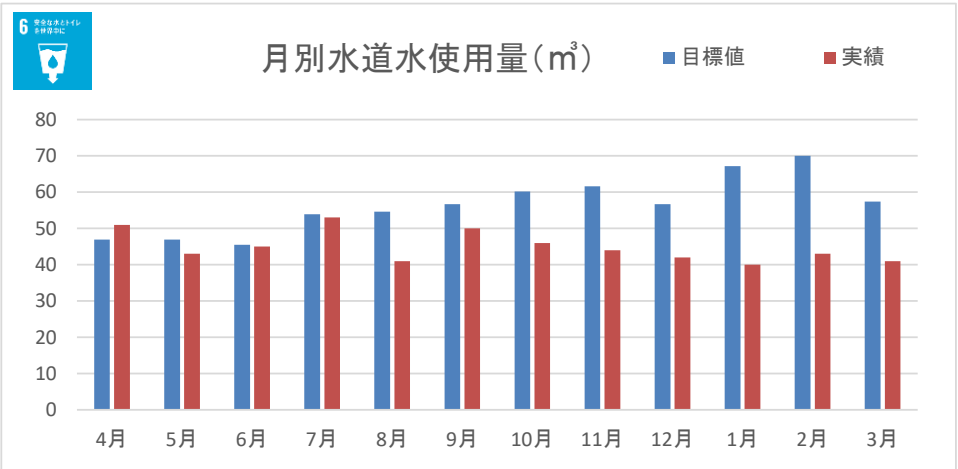
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	全社で古紙分別などの積極的な協力もあり、22年度の目標は達成となりました。23年度も引き続き目標を達成できるように分別等の徹底していきたいと考えます。
・裏紙使用の推進	△	
・廃棄物管理による意識改善	◎	

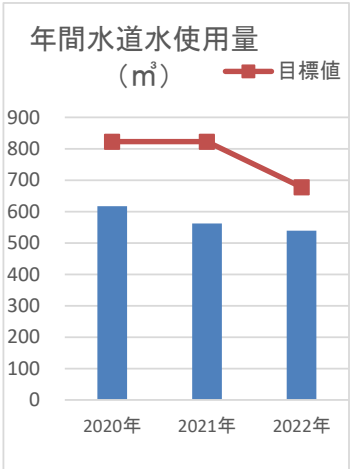




	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	368	368	368	368	368	368	368	368	368	368	368	368
実績	443	324	329	281	328	324	352	333	327	296	328	323

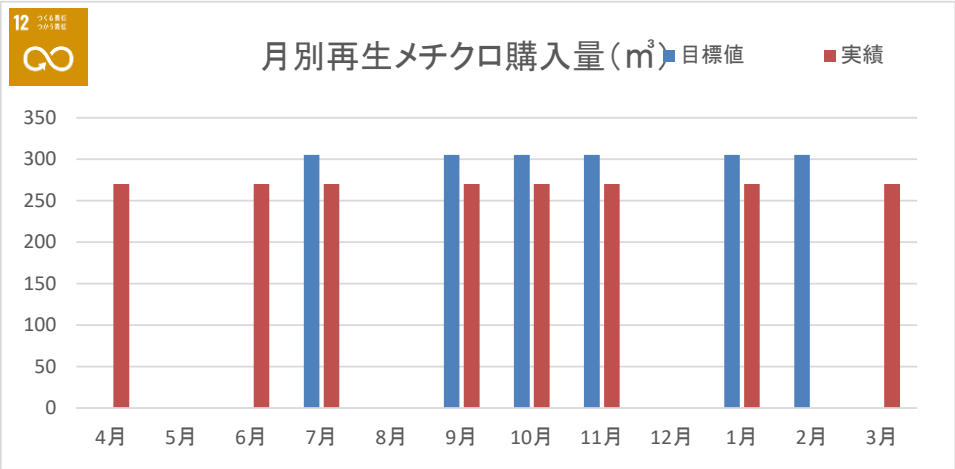
水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	22年度は年間目標も達成しており、前年の累計よりも使用量は23㎥減っています。来年度も目標値は変えずに継続していきます。
・自動水栓取付け	◎	
・漏水の調査	◎	
・節水活動	◎	

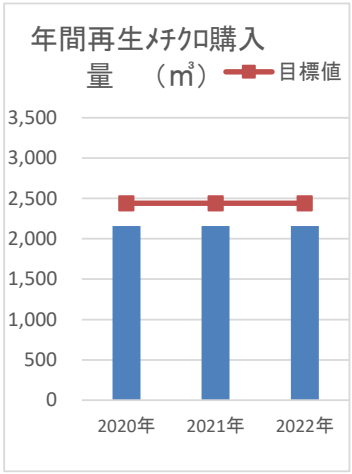




	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	47	47	46	54	55	57	60	62	57	67	70	57
実績	51	43	45	53	41	50	46	44	42	40	43	41

再生メチクロの購入量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	22年度の目標は達成しました。 23年度は洗浄液の交換と清掃を予定しており、また来期は使用の増加も予想されるため、今年度と同じ目標とします。
・使用しない時は蓋を閉める。	◎	
・使用後は必ず蓋を閉める。	◎	
・クーリングタワーで冷却水を循環させる。	◎	





	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	0	0	0	305	0	305	305	305	0	305	305	0
実績	270	0	270	270	0	270	270	270	0	270	0	270

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	グリーン対象外の購入により目標率未達成となった月もありましたが、累計では74%で今年度目標率を達成しており、来年度目標率は69%で考えています。
・事務用品グリーン購入比率向上	◎	

製品・サービスへの環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	年間目標値（4822kg）に対して、実績値は（6950kg）と2128kg超過という結果となりました。来年度の活動については、計画を見直し、今年度より木材の使用量を減少できるよう、取り組みます。 来年度の目標値は今年度を引継ぎたいと考えています。
・製品梱包に使用される木材量のモニタリング	◎	
・機種別の梱包荷姿を設定し、運用開始する	◎	

社会貢献	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・会社周辺の清掃活動の実施	◎	午後からの就業前に毎日、当社並びに周囲の公道の清掃活動を実施しており、来期も継続する。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃油、廃塗料、廃切削油) 特別管理産業廃棄物
騒音・振動規制法	エアコンプレッサー
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアコンプレッサー
消防法（危険物）	少量危険物の保管
水質汚濁防止法	有害物質の使用特定施設・貯蔵指定施設の届出
下水道法	有害物質の使用特定施設届
下水道法	除害施設の設置
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質の排出・移動量の報告
労働安全衛生法	ジクロロメタン
自動車NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：　火災の発生及びジクロロメタン災害	
■実施日：　2022年11月4日	■実施場所：本社
■参加者：　56名	
■実施内容：　☑通報訓練　☑消火訓練　☑避難訓練 1階溶接場より火災が発生及びジクロロメタン災害発生したことを想定し、火災対応手順書の誘導避難並びに初期消火活動、情報伝達が迅速に行なえるかの訓練を実施した。	
■評価：	手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし
避難完了までの時間：2分18秒　初期消火完了時間：1分12秒（消化活動10秒） 昨年度と比較して避難完了までの時間が22秒短縮できた。 昨年の教訓より、社内アナウンスで火元の場所情報をしっかり聞いてから避難することを心がけてもらったため、火元の側を避けた安全なルートで避難ができていた。あわせてジクロロメタンによる災害でも同様に避難できるように実施を行った。	
■実施状況の様子	

初期消火隊

点呼

講評

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年4月26日

日常的な活動については、安定して運用できていると思われる。一方で気候変動のスピードは年々早まっていることもあり、従業員の健康管理が優先となっており光熱費などが前年比増えている実態もある。
工作機械、自動車をはじめ冷暖房設備などを順次更新し、環境に配慮した機器を増やしていくことも重要である。
環境ポリシーの整備も進められていないので、この点にも人的リソースを投入することも検討する。

	対象	変更の有無	見直しの内容・指示
見直し・指示	環境経営方針	☐ 変更有り ☑ 変更無し	
	環境経営目標・計画	☐ 変更有り ☑ 変更無し	
	実施体制	☐ 変更有り ☑ 変更無し	